

鶴岡市と 鶴岡商工会議所 意見交換会

7/7 TUE
場所／新茶屋



はじめに、鶴岡市(阿部企画部長)と当会議所(加藤専務理事)が、新型コロナウイルス感染症による産業経済への影響に係る取り組みの状況等について説明。その後、鶴岡市に3つのテーマ「企業の存続及び雇用の維持・確保に向けた取り組みについて」、「産業経済の回復に向けた取り組みについて」、「庄内空港の利用回復などについて」の意見を伝え、それに係る回答を市の各担当部長より頂きました。

副会頭、各部長からも現状説明を含め、今後のコロナ禍においてどう経済を回復させていくか等多くの意見が出され、全ての意見に対して皆川市長よりご回答頂きました。結びには、会頭より提言・要望を鶴岡市に対して行い、会を締めくくりました。内容は次の通りです。

- ①「行政・産業・経済・金融等による経済対策会議の設置」と「経済・産業分野に係る人員体制の強化」
 - ②「県と市の連携による効果的な経済対策の推進」と「事業規模・従業員規模に対応した支援策の構築」
 - ③「国及び県に対する要望活動の強化」
- コロナ禍において、日本の抱える問題は山積しておりますが、地元企業の存続・雇用の維持、産業経済の回復に向けこれまで以上に鶴岡市との連携強化に努めてまいります。

令和2年度 山形県商工会議所連合会要望事項

6月17日(水)山形市で令和2年度山形県商工会議所連合会通常総会が開催されました。鶴岡商工会議所からは、「フル規格の羽越新幹線の早期実現および羽越本線の高速化・機能強化について」と「庄内空港の運行拡充と機能強化について」の2項目の要望事項を提案をし、以下の13項目について承認されました。

今後、山形県知事・県選出国会議員へ要望活動を行っていきます。

- I 新型コロナウイルス感染症対策の強化と被害を受けている地域中小企業への一層の支援拡充について
- II 地域中小企業への支援強化と小規模事業経営支援事業費補助金の適正な確保について
- III 高速道路をはじめとする県内道路網の整備促進について
- IV フル規格の奥羽新幹線・羽越新幹線の早期実現および山形新幹線ならびに在来線の運行拡大と機能強化等について
- V 山形空港・庄内空港の運航拡充と機能強化について
- VI 酒田港の振興について
- VII 中心市街地の活性化と魅力ある街づくりの促進について
- VIII 新型コロナウイルス感染症収束後の観光キャンペーン等の展開について
- IX 最先端の重粒子線がん治療施設の整備に伴う医療ツーリズムの態勢整備等について
- X 山形県工業技術センターの機能強化等について
- XI 企業の人材確保と育成支援について
- XII 山形鉄道株式会社の経営改善に係る行政支援の継続について
- XIII 新庄もがみの「道の駅」建設促進について

令和2年度

6月通常議員総会

6/26 FRI

場所
東京第一ホテル鶴岡
鳳凰の間

政府は、令和元年度の経済動向及び令和2年度の見通しについて、「緩やかに回復している」「緩やかな回復が続くことが期待される」との見解にあつたが、5月の月例経済報告では、「景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある」とし、先行きについても「感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくが、当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれる」と、大きくスタンスを変えている。本会議所の令和2年1〜3月期の景気調査においても、消費税引上げによる悪化がみられた令和元年10〜12月期よりも大幅に悪化し、東日本大震災時と同等又はこれを上回る状況となっている。又、4月に実施したアンケート調査では、回答者の58%が「経営に影響が生じている」、35%が「長期化する」と影響がでる懸念がある」としており、国・県からの収束に向けた要請に対応しながら、事業の継続及び従業員の雇用の維持に必死に努めている状況や、国・県・市町村による迅速かつきめ細かい支援を求める意見が寄せられている。

当会議所においても、3月16日に相談窓口を設置し、国・県等の支援に係る情報提供、融資制度・補助金の活用に係る相談、テイクアウト・デリバリー紹介事業、雇用調整助成金等に係る相談窓口の設置・相談会の開催などに取り組むとともに、影響を受けている地域中小企業

への一層の支援拡充について、山形県商工会議所連合会として山形県知事に要望書を提出しているところである。

外出の自粛等による消費者マインドの低下・個人消費の停滞、グローバルなヒトやモノの流れの収縮先行きの不透明さ等による企業の投資意欲の委縮などにより、国内外の経済は危機的な状況にあり、世界経済の成長率は、未曾有のマイナス成長の可能性も指摘されている。

このような状況を踏まえ、令和2年度における当会議所の運営に当たっては、新型コロナウイルス感染症による本市の経済・産業への影響の多大さを考慮し、当面、会員事業所の存続及び雇用の維持に向けた事業に傾注するとともに、収束後の需要喚起・早期回復に向けた事業を積極的かつ適切に展開することを重点項目とし、会員事業所へのアンケート等を継続し、その状況・支援のニーズの把握に努め、国・県・市の支援拡充を求めるとともに、会議所独自の事業展開を図っていく所存である。

一方、令和元年12月末の本市人口は、引き続き出生数の低下、若年層の流出により、前年同期と比較し1,668人減の125,500人と、人口減少に歯止めが掛からない状況となっており、その影響は、経済・産業分野での人材確保に留まらず、地域経済の縮小、首都圏等との格差拡大、都市機能の衰退などを招きかねないものとなっている。

本会議所では、鶴岡市・庄内地域における人口減少のスピードを抑制するとともに、このような状況下での地域の振興・活性化に資するため、平成27年に策定した中期行動計画に基づく基本戦略、重点事業、中小企業の支援強化及び推進体制の整備及び会議所機能の強化を柱として、各種事業を展開してきた。又、平成28年に策定した経営発達支援計画に基づき、厳しい経営環境下における会員事業所の事業継続、新たな事業展開や新規創業に資するため、きめ細かい支援に努めるとともに、令和元年10月1日の消費税の引き上げへの会員事業所の適切な対応への支援に努めてきたところである。今後とも、中期行動計画に基づく積極的な事業展開を可能とするため、国等の補助金の積極的な導入、経常的経費の節減合理化などにより、財政基盤の強化に努める所存である。

また、本会議所の会員は、役員、部会等の協力を得て「会員増強活動」を展開したものの、入会者は44事業所に留まる一方、高齢化に伴う廃業等による脱会者は106事業所あつたため、令和元年度末の会員数は1,907事業所となっている。今後とも、会員事業所に対するお役立ち度の向上、部会及び青年部・女性会活動の活性化を図りつつ、会員増強活動の展開を通して、会員の加入を促し、地域の総合的経済団体としての基盤を堅持していきたいと考える。

●令和元年度収支決算

	歳入	歳出	歳入歳出差引額
一般会計	134,376,246	106,505,642	27,870,604
中小企業経営支援特別会計	55,332,676	55,332,676	0
共済事業特別会計	201,569,300	181,234,364	20,334,936
財政基金特別会計	86,475,840	86,475,840	0
合計	477,754,062	429,548,522	48,205,540
会計間の繰入を除いたもの	459,728,867	411,523,327	48,205,540

(単位:円)

●協議事項

- 議案第1号 令和元年度本所事業報告について
- 議案第2号 令和元年度本所一般会計収支決算承認について
- 議案第3号 令和元年度本所中小企業経営支援特別会計収支決算承認について
- 議案第4号 令和元年度本所共済事業特別会計収支決算承認について
- 議案第5号 令和元年度本所財政調整基金特別会計収支決算承認について
- 議案第6号 令和元年度本所総括貸借対照表並びに固定財産について
- 議案第7号 令和2年度本所一般会計収支補正予算(案)について
- 議案第8号 令和2年度本所財政調整基金特別会計収支補正予算(案)について

鶴岡商工会議所設立100周年に向け、明るい展望を持つて歩むことができるように、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症による多大な影響下にある会員事業所の存続及び雇用の維持、収束後の需要喚起・早期回復に向けた事業に積極的に取り組むとともに、鶴岡市・庄内地域における人口減少のスピードの抑制と地域の振興・活性化という大きな課題に資するため、中期行動計画の見直し及び第2期経営発達支援計画の策定を進める予定である。

「出羽三山詣で～食と銘酒で語らう旅」プロジェクト推進事業第2弾 第1回「鶴岡庄内のお酒に関する勉強会」

6.23
(TUE)山形県酒造組合
特別顧問 小関敏彦 氏

平成30年より取り組んできた本プロジェクトを、今年は地酒に詳しい地域として鶴岡の付加価値を高めるため、参加対象を湯野浜温泉から鶴岡4温泉に広げ、現場スタッフ向けに全4回の日本酒に関する勉強会を実施します。6月23日の第1回勉強会では、山形県を“吟醸王国”に育てた立役者である小関敏彦先生を講師に迎え、鶴岡の酒米の歴史や県内の仕込み水の特徴を学んだ他、山形県が酒造りにとって恵まれた環境(テロワール)であり、長年研鑽を積んできた高い技術(味)が日本国内外で高く評価されていることも知りました。参加者にとって充実した勉強会となり、アフターコロナにおける誘客とリピーター確保の一助となるよう、工夫して取り組んでまいります。



▲「鶴岡の食文化や出羽三山、実際に教室で交わされた楽しい会話など、身近な話題を題材にした実用性のあるユニークなテキスト(補助金を活用して作成した英会教材)」

高野 あき さん

制度活用例

小規模事業者持続化補助金

英会話
教室翻訳
オフィス

ハッピーグローブ イングリッシュ アレグリア

住所／鶴岡市大西町26-26 TEL.0235-25-3224
https://www.happyglobeenglish.com/

●事業所の紹介

英語を中心に外国語会話教室、通訳・翻訳、通訳ガイドを行っています。

《外国語会話教室》：「楽しく身につく英会話をモットーに様々な年代のそれぞれの目的に合わせて、レッスンを行っています。」

《通訳・通訳ガイド》：国家資格を持つ仲間と「鶴岡全国通訳案内士の会チャットチャット」というグループを立ち上げ活動中です。企業様が視察や訪問を受け入れる際のビジネス通訳、食文化や出羽三山の通訳ガイドの依頼が多くあります。

《翻訳》：観光関連、機械、食品、医療・介護機器メーカー等 地元の施設・企業様からの依頼のほか、個人の方からの要望にもお応えします。

●補助金の活用内容

15年ほど前に「創業塾」を受講し翻訳事務所を立ち上げ、様々な

奇祭 天神祭(化けものまつり)

オリジナル弁当 「化け弁」

鶴岡庄内の旬の食材がたっぷり入った
ボリューム満点の内容は今年も大好評！

【お品書き】庄内豚みそ漬焼/山菜の煮物/赤かぶ漬・きゅうりのからし漬/孟宗・旬の野菜天ぷら/春の酢の物/桜鱈とごま豆腐のあんかけ/孟宗の炊き込みご飯



今年販売協力店として新たに加わった本間べんとう店では、ドライブスルー方式での受け取りも可能なため、タクシー等の運輸業者の利用も多く見受けられた。

当会議所が企画開発した天神祭限定発売のオリジナル弁当「化け弁」は、協力事業所ほか多くの方々のご協力のもと今年3年目を迎えました。今回は協力事業所が新たに1か所加わり4か所となったことで販売範囲が更に広がり、また、販売日も天神祭前日の5月24日(日)と祭り当日の5月25日の2日間設けたことで利便性も高まったことから、昨年を大きく上回り約1400食を売り上げることができました。

新型コロナウイルス感染症の影響により「天神祭」は神事のみで開催となりましたが、地元住民に鶴岡伝統の行事食を食べていただき、祭りの雰囲気を楽しんでいただけたのではないかと思います。来年は無事に「天神祭」が開催されることを願いつつ、当会議所では今後も「食文化創造都市・鶴岡」を大いにPRしてまいります。

▼新会員登録

鶴岡産直組合しゃきっと	阿部 貢	産直店 覚岸寺字水上196-1
(株)ダイユーエイト鶴岡店	石井 正治	ホームセンター 茅原字草見鶴38
お食事処 いせはら	佐藤 靖子	食堂 伊勢原町2-1
Key-ty(ケイティ)&そり庵	斉藤 恵子	理容業 伊勢原町8-14
くつろぎの店 泰	難波 泰子	和食店 本町二丁目18-6
(株)YCC情報システム鶴岡支店	伊藤 大地	情報サービス 本町三丁目7-52
おそうじ本舗鶴岡本町店	佐藤 耕三	清掃・ハウスクリーニング 小淀川字色田69-8
こころ整骨・接骨院	田林 知明	接骨院 みどり町30-27

一般財団法人あんしん財団 東北支局山形支所	那須野 圭太郎	特定保険業等 山形市本町1-4-27 セントラル山形ビル7F
幸進丸	榊原 英樹	漁業、食品加工 由良1-21-38
おやつ工房 Gou<te>ter(ゲーティ)	菅原 哲也	洋菓子製造販売 末広町25-10
Retour(ルトゥール)	田中 優香	エステティックサロン 宝田一丁目9-2-26
(株)マルフジ車体	遠藤 智幸	自動車整備業 文下字沼田17-2
(株)アドバンスロード	長澤 裕喜	塗装工事 上藤島字六所畑102-1
hot-酒-y a	布袋谷 成人	ワイン・オリーブオイル販売 切添町18-16-102

▼会員登録変更

(有)佐藤アルミ	代表者変更	新 代表取締役 佐藤 一平
(株)輝咲建設	住所変更	新 新海町30-32
山形サンダー(株)	住所変更	新 東原町9-13
カメイ(株)庄内支店鶴岡営業所	代表者変更	新 所長 鈴木 春彦

(株)鈴木工務店	代表者変更	新 代表取締役社長 鈴木 譲
(株)小野塗料商会	代表者変更	新 代表取締役 渡部 秀治
(一社)鶴岡労働基準協会	代表者変更	新 会長 武田 啓之
(株)ひまわり	代表者変更	新 代表取締役社長 伊藤 暁生

(株)マルゴ	代表者変更	新 代表取締役 佐藤 正晴
東日本電信電話(株)庄内営業支店	代表者変更	新 支店長 森 広幸
損害保険ジャパン日本興亜(株) 山形支店庄内支社	事業所名変更	代表者変更
新 損害保険ジャパン(株)山形支店庄内支社	新 支社長 坂下 賢也	